

第66回東北民教研『岳集会』のご案内

主催 東北地区民間教育研究団体連絡協議会・日本教職員組合東北地区協議会

東北民教研テーマ 「北方教育の遺産を継承し、国民教育の創造をめざそう」

ーやさしい言葉で深い思想を、地域の現実のより深い把握をー

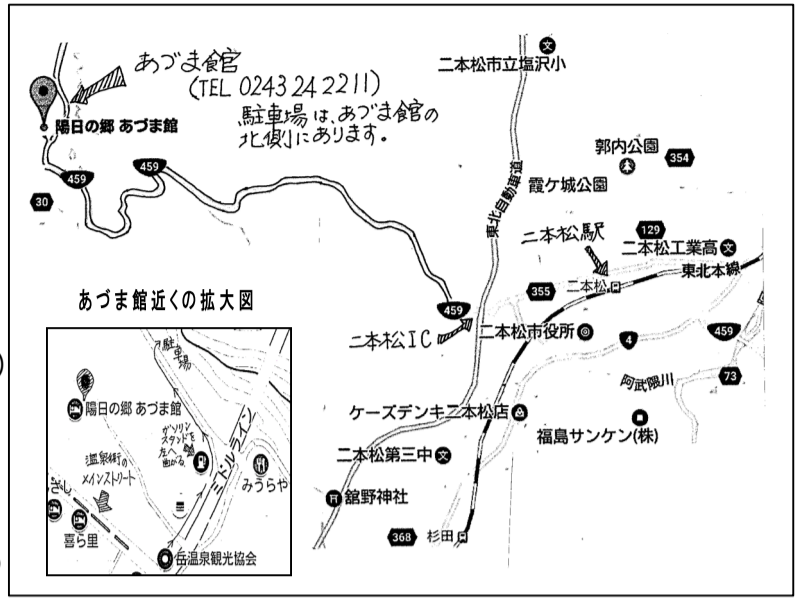
岳集会テーマ 「憲法施行70年 命を守り平和をつくる学びを、子どもたちとともに」

■日時 2017年8月10日(木)～12日(土)

■会場 岳温泉 陽日の郷 あづま館 (※分科会の一部は安達太良小学校にて実施)
〒964-0074 福島県二本松市岳温泉一丁目5 電話 0243-24-2211

【アクセス】 JR東北本線「二本松駅」から定期バスで25分(片道500円。ほぼ1時間おき運行。) 東北自動車道「二本松IC」から10km(車で約15分)

【あづま館による送迎】 マイクロバスでJR東北本線二本松駅との間の無料送迎。(※予約必要) (迎え) 二本松駅発 10:45 14:45 16:45 (送り) あづま館発 10:10 10:45
→ 無料送迎は「予約制」ですので、希望する方は必ず「申込書」の欄に具体的に「日にち」と「時刻」を記入ください。



■日程

	12:00	13:00	13:50	14:10	17:30	18:30	19:30	21:40
10日(木)	準備	受付	開会行事	移動	分科会①	移動	夕食	(1)DVD映画「大地を受け継ぐ」を観て交流 (2)青年の交流会 (3)運営委員会
11日(金)	朝食	分科会②	昼食	原発事故「被災地」からの報告 報告(1)、報告(2)	移動	特別分科会 ①②③④	休憩 & 移動	夕食・大交流会
12日(土)	朝食	分科会③	解散	現地実行委員会	◆2日目の「大交流会」の中で「旗の引き継ぎ」と各県代表者(1名)からの「感想発表」を行います。 ◆「閉会行事」は行いませんので、分科会ごとに解散となります。 ◆原発事故の被災地をバスで巡る「現地研修」が3日目にあります。詳しくは下記に。午前7:40～午後4時までかかる研修視察。			

■費用

◇宿泊費 11,000円(1泊2食) ◇屋食弁当注文 1,000円(8月11日のみです) ◇宿泊せず、夕食のみ7,600円
(※①未就学幼児は5,600円、小学生は7,800円、中学生以上は大人料金) (※②1人部屋は16,000円、2人部屋は1人につき13,000円) ※原則1部屋4人前後の宿泊です。
◇参加費(2日以上の参加) 教職員4,000円 退職教職員4,000円 一般(保育士、父母、他)・学生1,000円
※1日のみ参加の場合 教職員1,000円 退職教職員1,000円 一般(保育士、父母、他)・学生500円
*1日目のみの参加者の方で「集会記録集」を希望される方は(送料込みで)1,000円。

2日以上参加の方には、後日、「集会記録集」をお送りします。

◇10日の夕食時と11日の大交流会の飲み物は、受付時にチケット(引換券)を購入してください。

◇保育料: 子ども1人半日につき500円。事前に申込必要。

8月11日(金)13:00～15:30 原発事故「被災地」からの報告

【報告(1)】
原発事故直後からの6年5ヶ月、放射線と向き合いながら取り組んできた保育園の実践&奮闘
(報告者) さくら保育園&さくらみなみ保育園
【報告(2)】
原発事故によって甚大な被害を受けた福島県の農業。生業を取り戻すために立ち上がった農民たちのたかひと今後への展望
(報告者) 根本 敬(福島県農民連会長)

原発事故の被災地をバスで巡る「現地研修」8月12日(土)

【訪問する箇所】～おもな視察内容～

- ◆飯館村…「日本一美しい村」の一つに選ばれながらも、放射性物質に広く汚染されてしまった村。
- ◆希望の牧場…「放射能で汚染しているから殺処分せよ」と政府から迫られたが、受け入れずに300頭の牛たちを飼っている牧場と、牛たちの様子。
- ◆浪江町の町なか…「避難解除にしたのだから帰還できる」と言われても、町民の1%(200人)しか戻ってない浪江町の様子。
- ◆福島第一原発近くまで…巨大津波によって大きな被害を受けた請戸(うがと)小学校と、その近くから福島第一原発施設を遠望する。

研修の日程: あづま館発7:40—お城の駐車場 8:20—飯館村役場—常磐自動車道—希望の牧場(車中屋食)—浪江町—請戸小学校・福島第一原発施設—道の駅「南相馬」—道の駅「川俣」—二本松駅—お城の駐車場 16:00
*電車やバスで来た方は「あづま館」からバスに乗り、最後は二本松駅で降りることができます。車の方はお城の無料駐車場を利用することができます。

参加費用(お一人): 5,000円
(内訳) 大型バス1台として計算。
◇バス借上料、高速道路料金
◇案内ガイドへの謝礼金・交通費
◇屋食弁当(飲み物付き)
◇被災地オリジナル「ガイドブック」付き
*参加者人数によっては、追加料金もありえることをご了承ください。

申込方法
下の「参加申込書」の「現地研修への参加希望」欄に○印をご記入ください。
申込締切: 7月20日厳守。
*参加希望を申し込まれた方が当日の3日前までにご連絡無く不参加となった場合は、「参加費」をいただくようになりますこともご了承ください。

○特別分科会①～④ 8月11日(金)16:00～18:00

*「現地研修」の締切日は、バスの確保と案内ガイドの確保のため、7月20日厳守をぜひお願いいたします。

①原発・震災問題を考える—現地からの報告— ◆(福島) 原発爆発事故から順調に復興しているかのように政府は宣伝しているが、現地は荒れ果てた農地が目につき、避難解除が行われても戻る住民は少ない。事故の収束はまだ緒にも着いていない。全国で再稼働が進められているなか、原発事故と復興について考えたい。 ◆(宮城) 東日本大震災で被災した2つの小学校が統合し、新しくできた「宮野森小学校」の状況について、子どもたちの様子、保護者の様子、学校・教職員の様子の報告を受け、復興について考えたい。 報告: 福島/宮城	②児童生徒の自死問題を考える ◆(青森) 2016年8月、2学期の始業式を前に青森県で2人の中学生が、いじめが原因を思われる自死をした。これに関する学校、地域、第三者委員会の動きと、民主教育をすすめる青森県連絡会の取り組みについての報告。 ◆(福島) 原発事故から3年目の終わり頃から今までの間に、7人の児童生徒が自らの命を絶った。福島県の子どもたちを巡る状況、なぜ自死を未然に防げないのかについて討論を深めたい。 報告: 福島/青森	③「特別」な支援を必要とする子どもが生きる学級・学校づくり ◆(山形) 児童数約千名、うち支援学級在籍児童は知的7名、情緒13名。担任は5名、うち3名と通常学級の学年主任がコーディネーターを兼務。特別な支援を必要とする子が年々増加傾向にある中、担任一人で抱えるのではなく、学校全体としての体制をどう作っていったら良いか考えたい。 ◆(岩手) 子ども同士の反目をはじめ、人間関係がこじれた小学校高学年の学級づくり。学習発表会をとおして前進したようにみえる学級の中でトラブルを起こしていくA。Aの自立を図ろうと苦悩する学級づくりの報告。 報告: 山形/岩手	④子どもの貧困・学力格差を考える ◆(秋田) 八郎湯町の給食無償化の取り組みについての報告。それを受けて、教師の良心的な指導がもはや追いつかなくなっている「子どもの貧困」と「学力格差」の問題についてと話し合います。 報告: 秋田
--	--	--	--

【参加申し込み・問い合わせ先】

〒979-2453 福島県南相馬市鹿島区小池字原畑 38 遠藤慎一 FAX 0244-46-5882 Eメール shin1922reform@icloud.com

第66回東北民教研「岳集会」参加申込書(下記の内容で葉書・封書・FAX・メール等で送って下さい。) 宿泊申込最終締切 7月20日(木)

氏名	所属or 居住している市町村等	連絡先【連絡の取りやすい電話番号】	宿泊の予約【日にちを○で囲む】	1人部屋・2人部屋(割増料金)希望【○で囲む】	11日のみ弁当予約【○を記入】1,000円	二本松駅とあづま館との間の無料送迎希望: ①駅から希望する【日にちと時刻】 ②あづま館から希望する【日にちと時刻】	あづま館への到着予定時刻	参加する分科会の番号記入	参加する特別分科会の番号記入	保育の予約【予約する時間帯を全部○で囲む】	現地研修への参加希望【○を記入】
			10日 11日	1人部屋 2人部屋		① ②				10日午後 11日午前 11日午後 12日午前	
			10日 11日	1人部屋 2人部屋		① ②				10日午後 11日午前 11日午後 12日午前	

